

みよし市放課後児童クラブ運営業務委託プロポーザル評価基準

評価基準一覧表 A

評価項目		評価の観点	配点	評価	係数	評点
業務体制	放課後児童健全育成事業及び同種業務の実績	業務の実績について、3段階で評価 A. 実績が5件以上 B. 実績が2件から4件 C. 実績が1件	5			
	企業の経営状況	経営母体の財務状況について、3段階で評価 A. 良好 B. 普通 C. 不十分	5			
担当者の能力	主(副)担当者の実務経験及び資格の保有状況	主担当者又は副担当者いずれかの実務経験及び資格の保有状況により3段階で評価 A. 実務経験が3年以上及び放課後児童支援員資格を保有している B. 実務経験が3年以上又は放課後児童支援員資格を保有している C. 実務経験が3年未満でかつ放課後児童支援員資格を保有していない	5			
	放課後児童健全育成事業及び同種業務の実績	業務の実績について、3段階で評価 A. 実績が3件以上 B. 実績が2件 C. 実績が1件	5			
評価基準票(A)小計			20			

注記 1 評価係数はA=1.0、B=0.6、C=0.2とする。

2 担当者の実務経験については、放課後児童健全育成事業及び同種業務の実務経験とする。

評価基準一覧表 B

評価項目		評価の観点	配点	評価	係数	評点
業務内容	児童の生活、育成支援に対する考え	運営方針と事業の妥当性(児童クラブにふさわしい内容か)	5			
		計画の具体性、実現性(実現可能で具体的な内容か)	5			
	配慮の必要な児童の支援に対する考え	支援の方針と対応の妥当性(本人や周囲に配慮されているか)	10			
		計画の具体性、実現性(対応可能なものか、実績はあるか)	10			
	保護者、学校、市役所との連携体制	対応方針と実施方法の妥当性	5			
		計画の具体性、実現性	5			
業務の継続性	支援員の配置、教育、指導	運営方針、実施方法の妥当性(安定的なクラブの運営が可能な方法か)	5			
		計画の具体性、実現性(現実的な計画となっているか)	5			
	支援員の雇用、処遇	雇用方法、処遇の妥当性(市での雇用方法、処遇との差異がないか)	5			
		計画の具体性、実現性(必要な職員数が継続的に確保できるか)	5			
提案金額			20			
評価基準票(B)小計			80			
評点合計(評価基準票A小計+評価基準票B小計)			100			

注記 1 評価係数はA(非常に満足できる)=1.0、B(おおむね満足できる)=0.8、

C(平均的)=0.6、D(やや不満足である)=0.4、E(不満足である)=0.2とする。

2 配点に評価係数をかけることによって算出された評点は、小数点以下を切捨てとする。

3 提案金額については、最も低い金額を示した候補者が20点(満点)となり、それ以外の候補者は契約上限金額を下回っていれば同率で18点(20点×0.9)となります。